

## 議事録

内 容	第2回豊橋市まちなか図書館（仮称）実施計画策定懇談会
日 時	平成27年8月1日（土） 午前10時00分～12時00分
場 所	豊橋市中央図書館 3階会議室
出席者	内藤 咲野、白井 琢也、柘植 晶子、鮎川 真世、荒川 雅彦、河合 萌杏、中野 真美子、内浦 有美、木下 博貴、中井 孝幸（アドバイザー）、山崎 未貴（オブザーバー・中央図書館司書）、事務局（まちなか図書館整備推進室：伊藤室長・加藤主幹・小林主査・三浦、図書館：天野館長・岩瀬主査）、実施計画策定委託業者

要 旨	
	<p><b>1 あいさつ</b> 【事務局等の追加自己紹介】</p>
事務局	<p><b>2 意見交換</b> 説明（ワークショップ方式による意見交換、ワークショップの進め方）</p>
委員	<p>【テーマ：豊橋の好きなところ（人）・自慢したい事】 豊橋の民話。資料を集めて、語り部の皆様と再編している。昨年調べたところ、250の民話がある。</p>
委員	<p>近所に1キロ公園（牛川遊歩公園）がある。小さい頃からずっと行っている。高校生がたくさん遊んでいる。</p>
委員	<p>家の近くにハリストス正教会など、文化遺産のようなものが多い。</p>
委員	<p>暮らしやすい。自然もあり、ほどよい人口密度。都会すぎず、田舎すぎず。なおかつ交通の便が良い。</p>
委員	<p>何ととっても、海。まちの人に聞いても、サーフィンをするために豊橋に移住している人もいる。</p>
委員	<p>映画館でいろいろな作品もやっているし、交通の便も良い。</p>
委員	<p>海が近い、自然が豊富、食べ物が美味しい。交通の便が良い。自慢したいところは、のんほいパーク、祇園祭、車の輸入が日本一の港がある（豊橋港を含む、三河港）。</p>
委員	<p>カブトムシや蛍など、自然のものが豊富。東京などでは遠くに行かないと見ることが出来ない。近所付き合いも、ほどほどにおせっかいなところが良い。孤独なお母さんもないのかなという感じもしている。</p>
委員	<p>水上ビルが好き。図書館の場所にも近い。自分自身は出身も会社も豊橋ではないが、盛り上げていきたいと考えている。 豊橋は、他のまちよりも、バスの本数は多いと思う。そこは自慢できるのではという気がしている。有効に活用できれば。</p>
アドバイザー	<p>路面電車が走っているというところが良い。あとは、みなさんの話を聞いていても、豊橋時間が流れているのかなと思います。</p>

オブザーバー	<p>中央図書館のティーンズルーム。他の市を見ても分類だけではなくジャンルで分けているところはあまりない。そこが自慢です。</p>
	<p>◎基本計画に掲げた基本方針を実現するサービス提案</p>
委員	<p><b>【テーマ：人と人とが繋がる】</b>  好きな人は集まるが、そうではない人は通り過ぎる。図書館の中に回転寿司のような仕組みがあると面白いかなと。むこうからやってきてくれる仕組みがほしい。占いと絡めたりしても面白そう。あとは、人力のエレベーター（体重エレベーター）とか。子どもは喜ぶ。</p>
委員	<p>図書館で何もしない人がどう滞在するかも大事。くつろげる空間も大切だなと。寝る場所とか。</p>
委員	<p>ヴィレッジヴァンガードのポップのようなおすすりめがあれば、それを見て面白いと感じるかも。そういうのを市民の方が投稿できる仕組みも面白い。</p>
委員	<p>声優の朗読会や、TEDのグランプリ。（※TEDとは…学術・エンターテイメント・デザインなど様々な分野の人物がプレゼンテーションを行うカンファレンス）やりたい人がやるイベント。</p>
委員	<p>エンターテイメント性の高いものがあると、小さい子供も集まるし良いと感じた。</p>
委員	<p>本を読まない人の気持ちが私にはわからない。でも、子供だったり、私の同年代の方の本を読まない人に対してのアプローチは大切。</p>
委員	<p>豊橋の人のための観光案内。</p>
委員	<p>サブジェクト・ライブラリアン。図書館における「人と人とが繋がる」とはどういうことかなと考えた。市民館にはない人のつながり。既存の公共施設（ここにこ、PLAT）以外での関係性や、図書館の特質を考えて、知の集積がある。それを活用した質の高い繋がり。そのためには、専門性が高い人材がいる。</p>
委員	<p>ポップにこだわる。顔は見えないが、紹介して繋がりができるのでは  また、外国人を講師に招いたり、まちなかの専門家の技を教えていただいたり。サイエンス・カフェのような形。中心市街地の仲間づくりができれば。  体重エレベーターが頭に残っている。シーソーのような椅子が公園にある。2人で座るとちょうどいい。</p>
アドバイザー	<p>本を読まない層や、本の内容を知らない人に対してどのようにして内容を知ってもらうのか、興味を持ってもらうか等、なかなか難しい。これはおせっかいなこと。しかしながら、図書館の敷居を低くするのは大切。豊橋はほどほどが良い点だと、先ほども意見であったが、ほどほどの距離感でおせっかいもする。人と人とが繋がるのはそういうこと。コミュニケーションボードなどの意見が出たが、これも痕跡を残すことが重要。やってない人に見てもらおうということが大切なので、何かが残ってないと</p>

いけない。情報を残すのがひとつの仕事。ポップも捨てるのではなく、写真を撮って  
おいて記録していったり。毎週やらないといけない、という義務感は辛いので、自由  
にできる。やりたいときに、図書館の人が仲介役を果たしてくれると良い。

また、豊橋の今までの歴史も大切だが、これからの歴史も記憶していく必要もある。  
それは面白いかなと思う。

オブザーバー

海外の図書館は、「National Gaming Day」といい、図書館でゲームをするという  
例もある。ボードゲームだったり、テレビゲームだったり。図書館とは離れているが、  
もう少し軽いエンターテインメント性のあるものを取り入れるのもありかなと思う。

委員

【テーマ：気軽に立ち寄れる・心が落ち着く】

気軽に立ち寄れるというところで、観光案内をしてくれる。三河弁を使うというの  
もありだと思うが、新幹線を使った人がまちなか図書館に来たら、このスペースを使  
える、というようなウェルカム感を出せばよい。あとは、雨が降って濡れたら乾か  
してくれるような仕組みもあったら人は集まるのでは。

委員

どうしても駐車場の話になってしまう。のんほいパークに、ミニ電車のようなもの  
がある。ああいうのが駅から図書館などに繋がっていたら面白い。そこで図書館のア  
ナウンスもあったら面白い。楽しみながら、人を連れていきたい。

委員

豊橋にしかない、というコンセプトが良いと感じた。

委員

コンセプトカフェがあるとよい。毎月コンセプトを考えているカフェ。いろんなタ  
イプの場があれば良い。

委員

三河弁のサイン計画。あとは、機械が本を取り出すような仕組みが見えたり、裏側  
が見れたらいいなと思う。

委員

わざわざ豊橋に来た人対象ではなく、電車を待つ間に、立ち寄れるような仕組み。  
遊園地や、水族館があればいろんな人が来るのではないかな。本とリアルの融合。

委員

どうしても緑が少なくなる。夏に涼しくなるような空間がほしい。

委員

気軽に立ち寄りしたい施設とは、知的好奇心をくすぐるモノがある心が落ち着く設  
計、デザイン側になると思う。居心地よい空間のセンス。ずっといたいと思わせる空  
間。私はまちなかにずっと住んでいる、今のまちなかで心落ち着く場所は、あまり思  
い浮かばない。そういうスポットになってくれたら良い。本当に気軽に立ち寄りた  
いと思える空間。公共交通機関を使ってまでも来たいという場所にしなければいけ  
ない。PLAT では、高校生等がデートしているのを良く見かける。やっぱり、居心地が  
良いんだと思う。あそこで勉強することは個人的には良いこととは思わないが、交流  
の場になるのは良い。

委員

中央図書館がこのまままちなか図書館になったらどうなるんだろうと考えてみた。  
まちと図書館の間のグレーゾーンがゆるやかなほうがよいと思った。縁側のような、  
ホテルのエントランスのような。やっぱり僕は、デートで使ってほしい。なぜ自分が  
イオンに行ってしまうのかと思うと、ウィンドウショッピングができるから。そのよ  
うなものが図書館にあれば。

気軽に立ち寄れることも大切だが、まずは図書館を知ってほしい。バスや電停も多い。電停もデザインし直したり。あとは、運動をする人たちを対象にして、運動後、リフレッシュした後に、本を読みたいという考えもあるかなと思ったので、リフレッシュできる意見も素晴らしいと思った。

アドバイザー

地方都市で、晴れの日と雨の日で図書館利用が変わるかを調査したことがあり、その結果だと雨の日のほうが多い。そう考えると、雨の日は、図書館はチャンス。なので、雨にぬれるというのはダメ。雨に濡れずに入っていけるというのは大きな要素。また、駐車場について、豊田市は周辺の提携駐車場に止めれば3時間無料としている。そういうことがあれば来やすくなる。あと、遊園地や水族館についてだが、GWの集客が多かったのは、ディズニーランド、USJ、刈谷のハイウェイ・オアシス。ハイウェイ・オアシスの理由は、お金がかからない。レジャー施設だから人が行くということでもない。水族館や遊園地、緑なども必要かもしれないが、何かやれば、今まで来なかった人たちも来る可能性があるなど。今まであり得なかったことを図書館に複合するのもありかなど。知的好奇心の話が出てきて、図書館の大切な要素として、8割くらいが人だと。つまり、司書。のこりの1割が資料、1割が建築。いい人がいれば良い図書館になる。そういった意味で、人を育てるとするのは大切。いい人がいるというのは魅力になる。

日本の図書館では、入口のすぐにカウンターがあるのは、なにかあった時に人がすぐに飛んでこないといけないから。だが、それが入りにくいということのを助長しているかも。イタリア等では、図書館として作ったものではなく、古い建物を図書館として使っている場合があり、カウンターが離れていることがある。カウンターと出入口の関係性で入りやすさを変えられるかもしれない。また、スターバックスでは誰もいないよりも、人がいるから匿名性が保たれるのであって、そういうことを用意してあげるのも良いかなと思った。

オブザーバー

テレビで見たのですが、チームラボという会社が、床などにデジタルアートをやっていた。そういうのもあると面白いかなと思った。

【テーマ：まちづくりに繋がる】

委員

まちづくり協議会のようなもの、地域が集まってまちづくりについて考える団体がある。地域住民と、意識の高い人達をどうやってつなげていけるか。こうやってまちづくりしていきたいと見える場があれば。

委員

声優。アニメは無視できないので、まんが塾など、アニメをテーマにしたものを考えたらどうか。

委員

仕事に役立つ。車の輸入はドイツ車が多いので、ドイツの図書館と提携して、他にはないような仕組み。オーディオブックの貸出もありなのでは。

委員

未だに豊橋がどんな街か分からない。絵が好きな人には、画廊探検マップなど、そういうのがあると良いかなと思った。

委員

東三河は観光ボランティアが少ない。ということは、興味が有る人、アピールしたい人が少ないのかなと思うので、そういう人材を育てる仕組みが必要。歴史について教えられるようなスペースがあればよいのでは。

委員	<p>豊橋には文化がたくさんある。豊城中学校には、人形浄瑠璃をやっている。ほとんど文化祭でしか発表できない。プロとは違うが、それでもそういうのがあれば良い。知ってもらえるようなところがあれば。</p>
委員	<p>地域に何があるかをマップのような形で。テーマ別のマップ。</p>
委員	<p>某市の図書館長と話をした。市民からきた疑問や意見はとりあえず全て打ち返すらしい。それはトップだけではなく、司書さんもみんな。まちなか図書館もそういう存在になるのでは。知もあれば、人材も、文化も、図書館とは関係ない話も、あの人達に言えば何か返してくれるという、そういう存在になっていくのではないかなと思う。</p>
委員	<p>人が大切。地元の人が講師になること。サポーターを作るなどして、運営とは別に協力を集えば良いと思う。それが地道なまちづくりに繋がる。マップも、いいなと思っている。店主の一言メモ、みたいな仕組みも良いかもしれない。無理せずに継続的にできるかなと感じた。</p>
アドバイザー	<p>市街地のにぎわい創出が大きな目的だと感じる。最近駅前の図書館も増えてきた。一宮、塩尻、富山の高岡など。複合施設の中に図書館という仕組み。ただ、残念というか、ついでに利用する、というのがほとんど。それは図書館利用者だけに聞いているというのもあるが、1日調査して、2500人～3000人来ているが、結局、20分～30分で帰ってしまう人がほとんど。滞在時間が短い。勉強している高校生がいるので平均は長くなるが。駐車場の料金でもぜんぜん違う。来た人を、しっかりキャッチしないとイケない。何か作れば良いというものではない。明確な意図を持って、こういう人たちをターゲットに捉えるんだという仕掛けをしていかないと万人受けは難しいかもしれないが、にぎわいにつなげるためには、少しおせっかいにその人達を引きとめて活動してもらう必要がある。外に向けて、だけではなく、内に向けてのサービスをしっかり考えて、結果として外に、というほうが良くなるかなと思う。</p>
オブザーバー	<p>起業家に対して、1から10までサポートできるような仕組み。次の世代につなげていける仕組みがあったら良いなと思う。</p>
事務局	<p>ものがあるだけではなくて、その先に何があるかということも重要。どう利用してもらうか。豊橋の良さを伝えられるようになったらまちづくりにも繋がっていくのかなと思う。</p> <p><b>3 次回の予定について</b></p> <p>8月29日（土）10時～12時  場所：豊橋市中央図書館 3階会議室  内容：ゾーニングについて（予定）</p>